

9-1 九州中・北部の地震活動（1994年11月～1995年4月）

Seismic Activity in the Middle and the Northern Kyushu District (November, 1994-April, 1995)

九州大学理学部
島原地震火山観測所

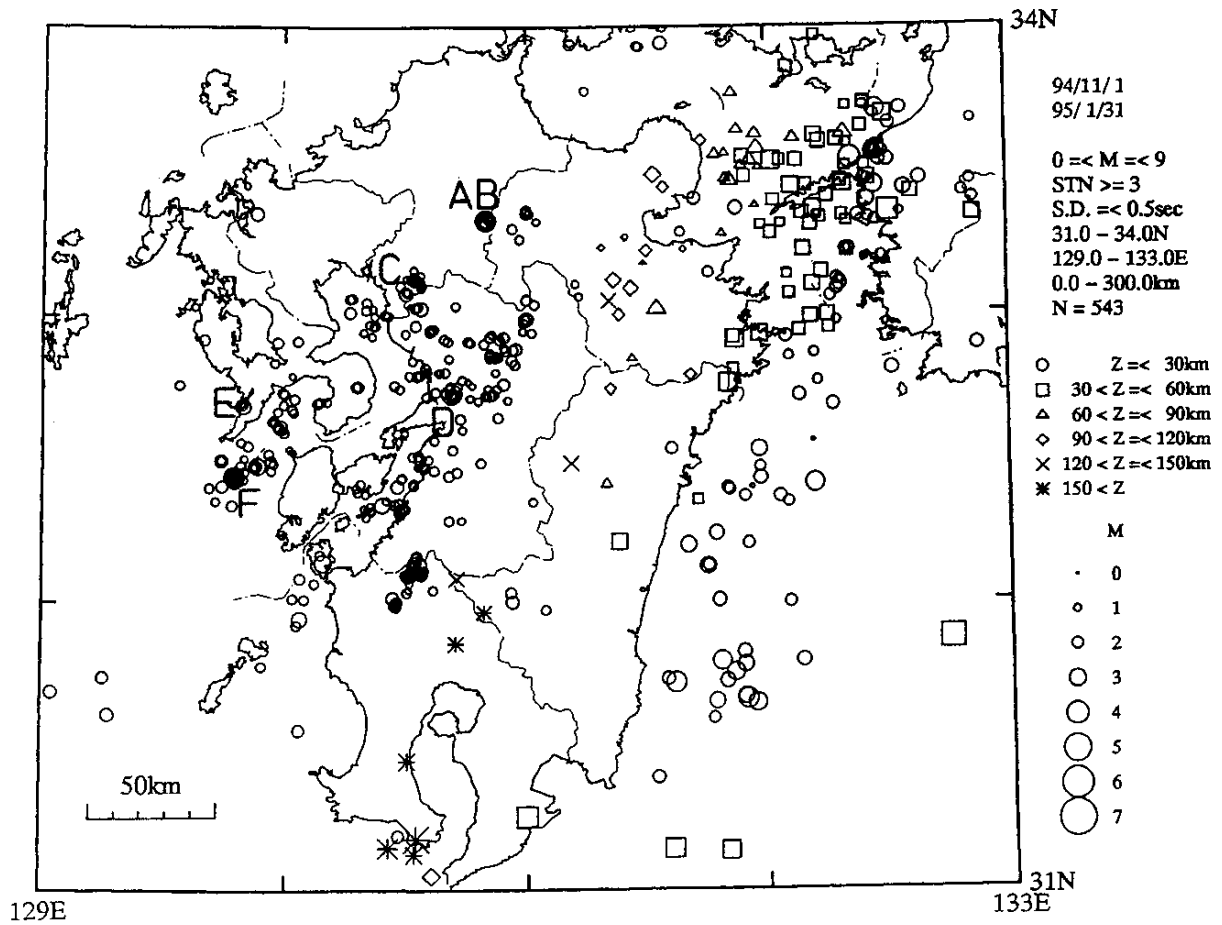
Faculty of Science, Kyushu University

第1図に1994年11月～1995年1月、第2図に1995年2月～4月の震央分布を示す。この期間、九州中北部では、最大地震M3～4程度のいくつかの地震集中域がみられた。このうち九州西部では、有明海北部とその東側沿岸、熊本市周辺、天草灘などの地域で地震が比較的まとまって発生しており、この期間、それまでに比べ九州西部での地震活動がやや活発化したことがうかがわれる。第3図と第4図に、活断層分布に重ねた震央分布、および主な地震の発震機構を示す。

この他注目すべき活動として、第5図に示すように、福岡県北部の警固断層北端付近で、1995年2月～3月にかけて数個の地震が観測された。また第6～8図では、有明海中部で1995年2月から続いている地震活動について、震源分布（第6図）、M-T図（第7図）、発震機構（第8図）を示す。活動規模そのものは弱いながら、3月末からはやや活動が活発化している。発震機構は南北張力の正断層で、広域応力と一致するものである。

第9図には、雲仙・普賢岳における日別震動回数（10秒以上）と日別火砕流発生回数を示す。1995年2月より、両データとも活動レベルがきわめて低いことを示しており、表面上も溶岩の噴出はほぼ停止した状態となっている。

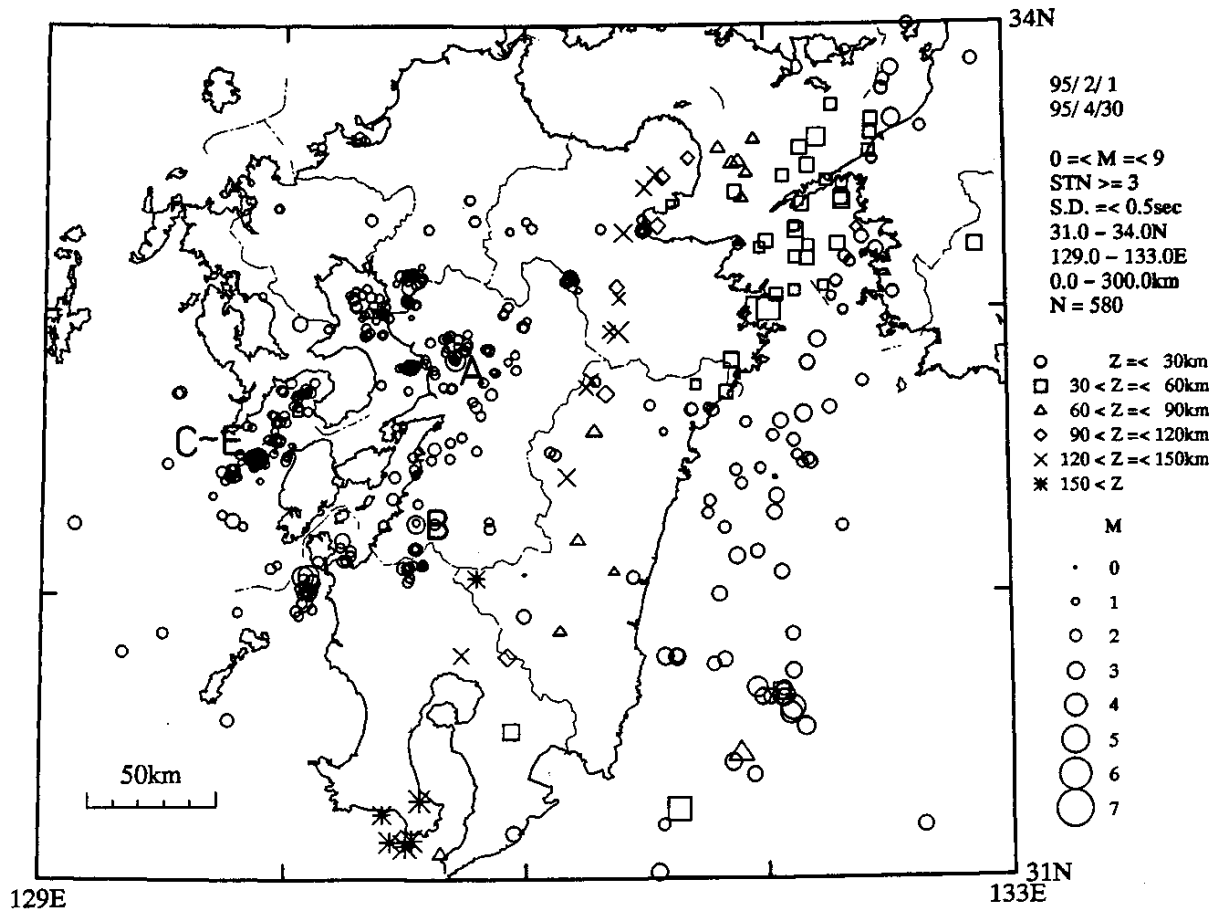
EPICENTER DISTRIBUTION



第1図 震央分布 (1994年11月~1995年1月)

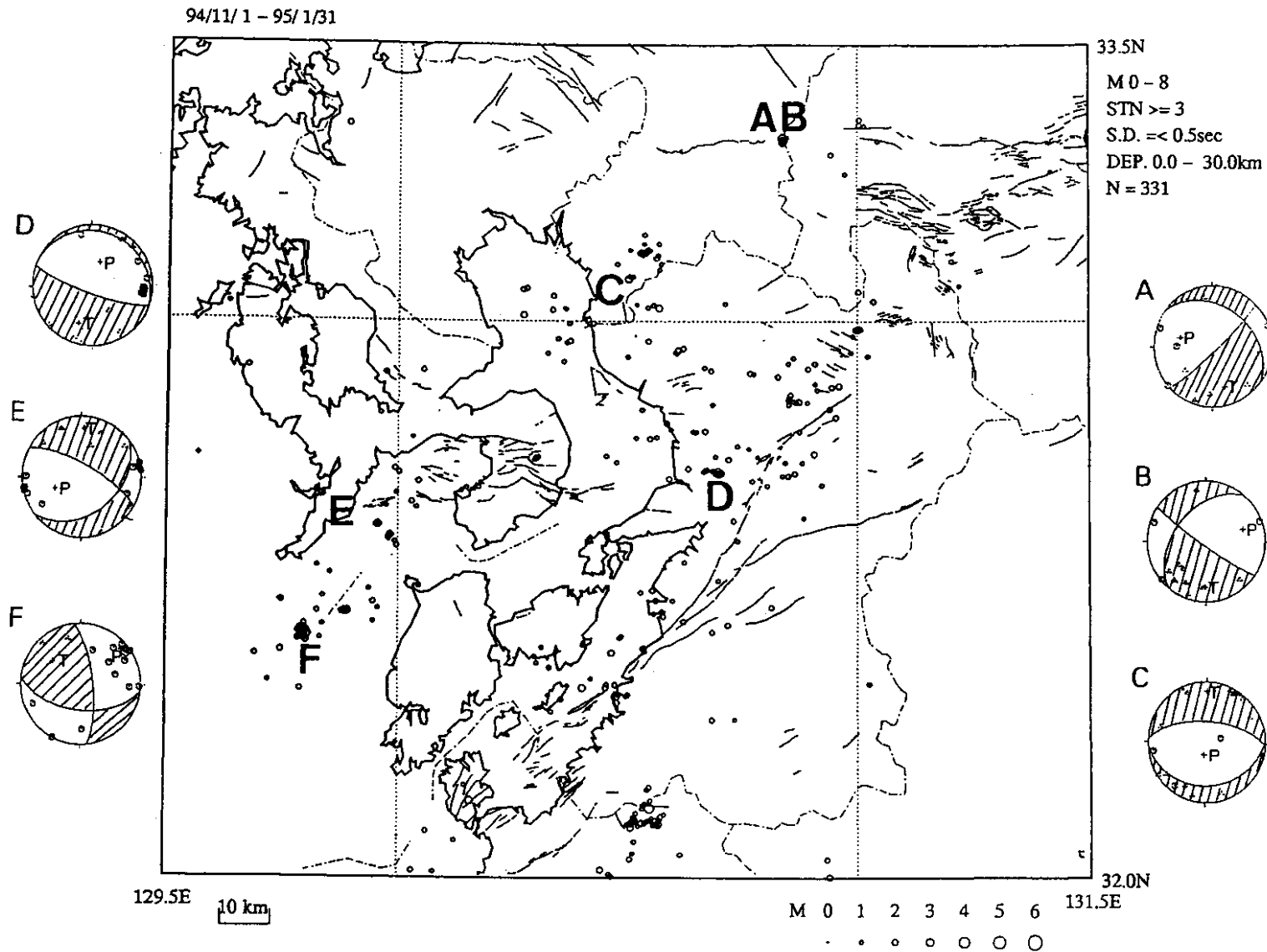
Fig.1 Epicenter distribution (November, 1994-January, 1995).

EPICENTER DISTRIBUTION



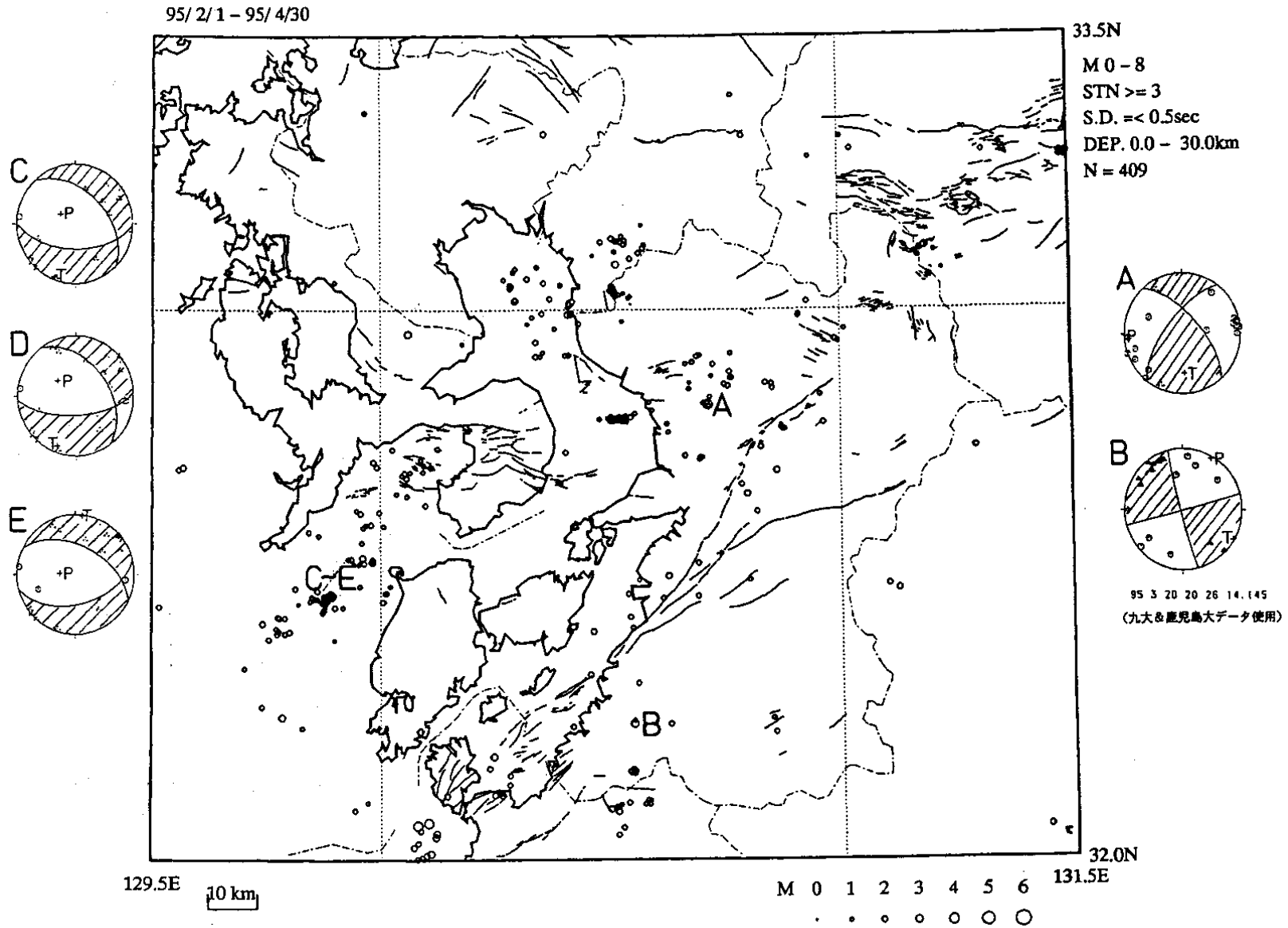
第2図 震央分布 (1995年2月~4月)

Fig.2 Epicenter distribution (February-April, 1995).



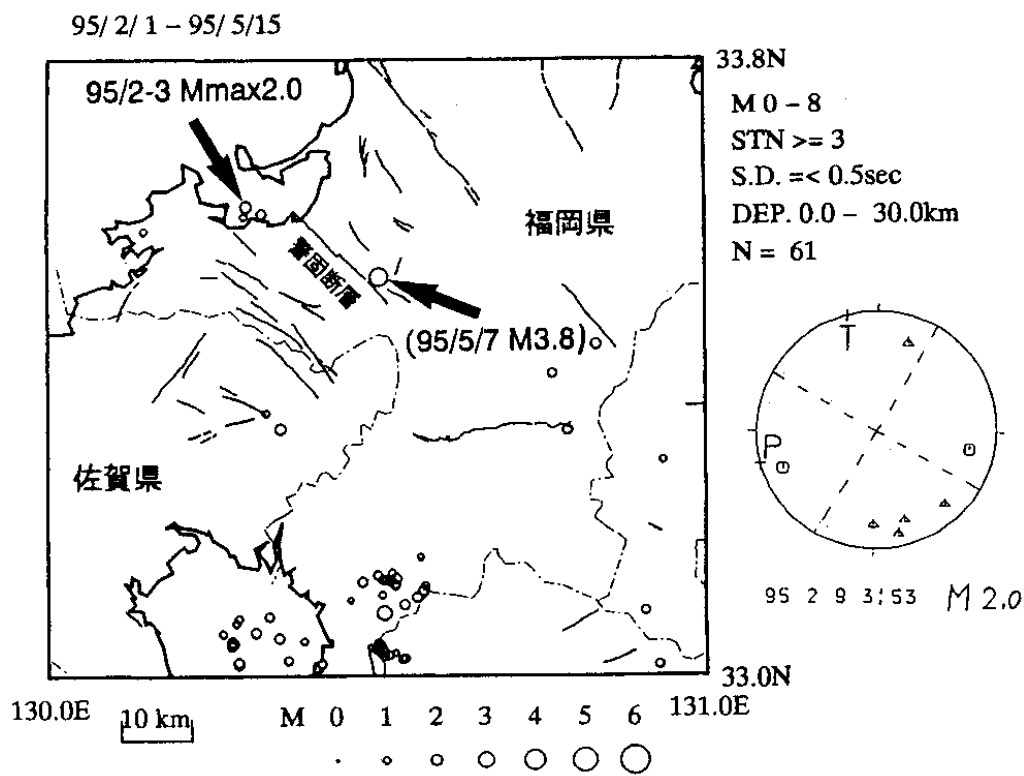
第3図 活断層を重ねた震央分布（1994年11月～1995年1月）と発震機構（下半球等積投影，三角：押し，丸：引き）

Fig.3 Epicenter distribution (November, 1994-January, 1995) with active faults and focal mechanism solutions. Equal area projection on the lower hemisphere; triangle, up; circle, down.

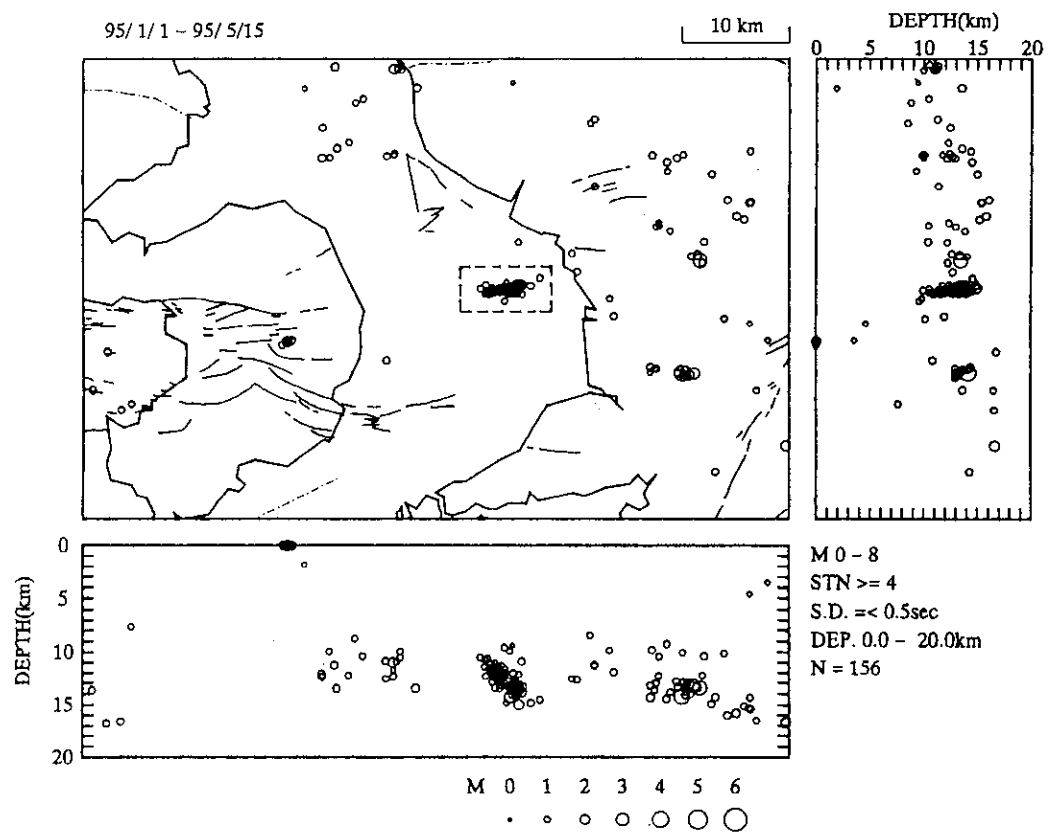


第4図 活断層を重ねた震央分布 (1995年2月~1995年4月) と発信機構

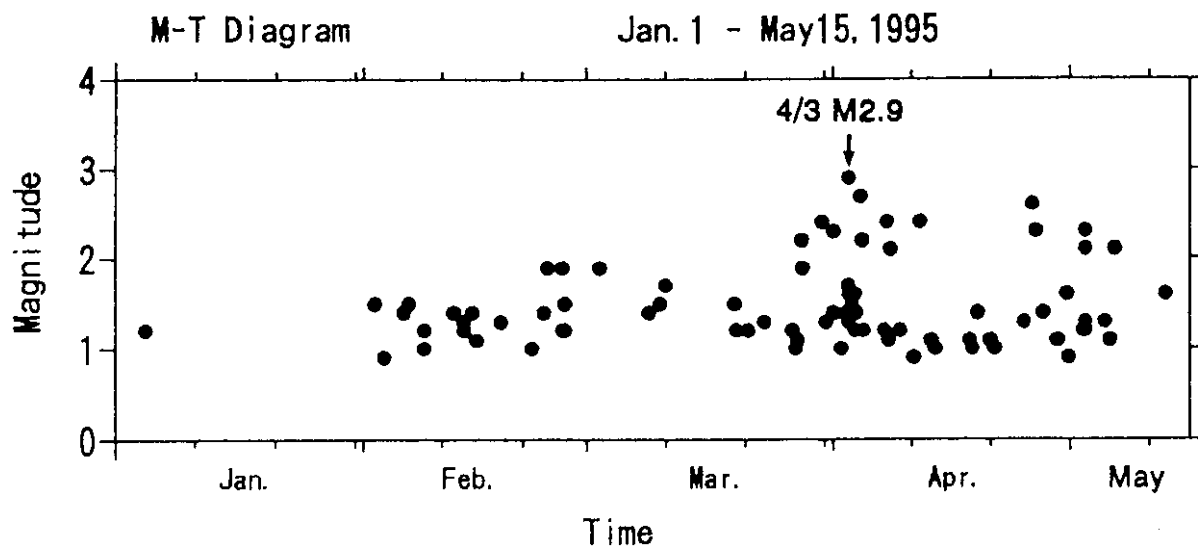
Fig.4 Epicenter distribution (February-April, 1995) with active faults and focal mechanism solutions.



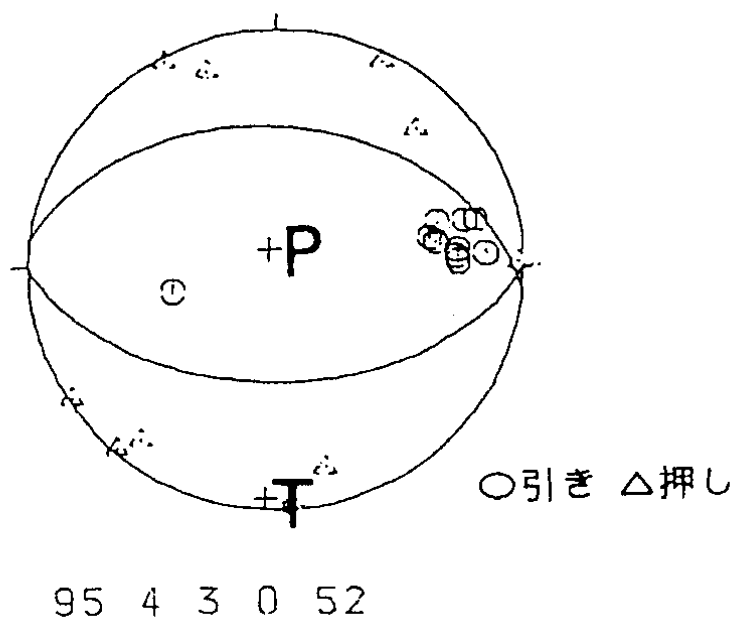
第5図 警固断層（福岡県）付近の震央分布（1995年2月1日～5月15日）
 Fig.5 Epicenter distribution near the Kego Fault in Fukuoka.



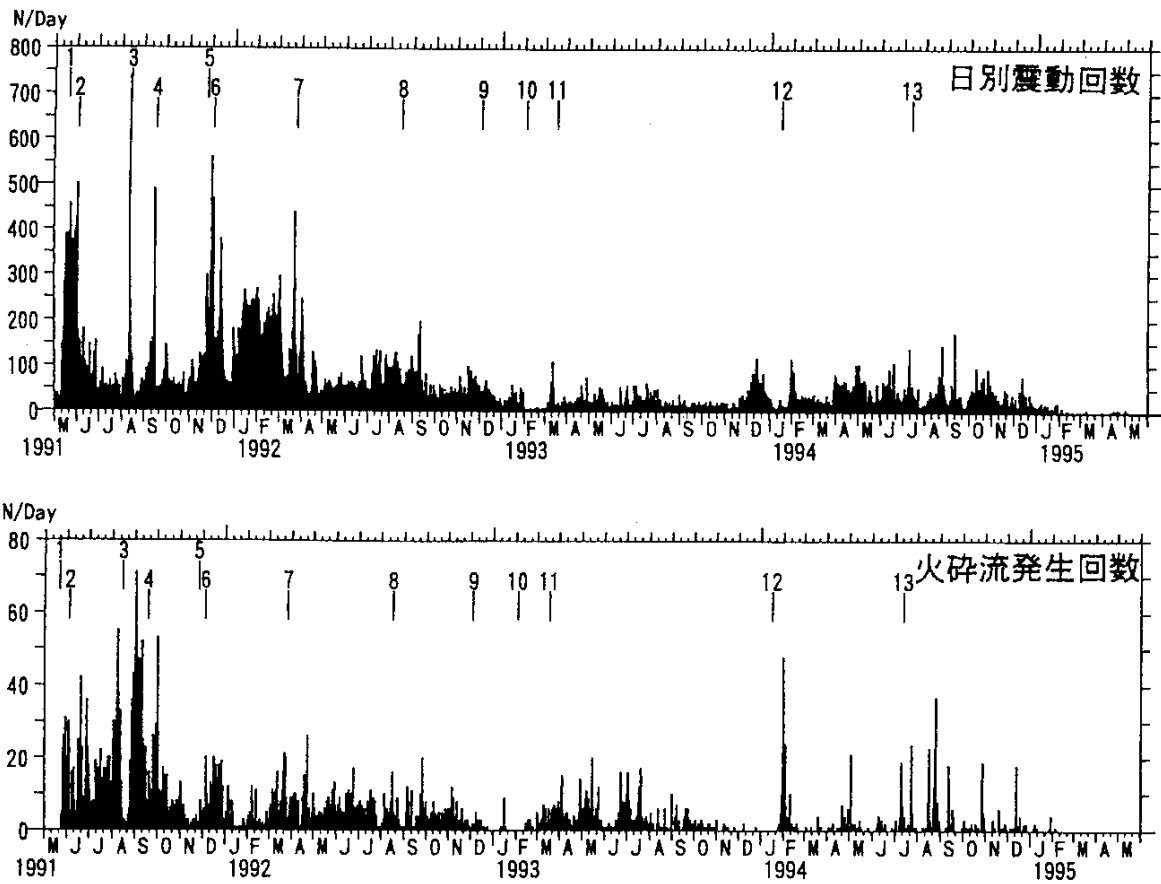
第6図 有明海中部の震源分布（1995年1月1日～5月15日）
 Fig.6 Hypocenter distribution in the central part of Ariake sea.



第7図 第6図の点線枠内の地震のM-T図
 Fig.7 M-T diagram of the earthquakes in the rectangle region in Fig. 6.



第8図 1995年4月3日 (M2.9) の地震の発震機構 (下半球等積投影, 三角:押し, 丸:引き)
 Fig.8 Focal mechanism solution of the earthquake (M 2.9) on April 3, 1995. Equal area projection on the lower hemisphere ; triangle, up ; circle, down.



第9図 雲仙・普賢岳における日別震動回数（10秒以上）（上）と日別火砕流発生回数（下）。
1～13は、各溶岩ローブ出現時期を示す。

Fig.9 Daily number of tremor-like signals on the seismic records (durations ≥ 10 s) (top) and pyroclastic flows (bottom) at Fugendake, Unzen Volcano. Numbers 1-13 indicate the beginnings of new lobe extrusions.